



- ◆あそび・まなび・たべる
- ◆老壮若が出会い、遊び・子育て・学習を支援。
- ◆近所に子ども食堂を！

すくすく通信 第10号
2021年5月30日発行
発行：一般社団法人すくすく広場
代表：丸山綱男
事務局・発行所
〒347-0031 加須市南町 7-67 戸恒方
Email tozune@outlook.jp
<http://k-sukusuku-hiroba.org/>

日々新たに対応した2020年度

一般社団法人すくすく広場
理事長 丸山 綱男

小さなウイルスが起こした世界的な問題により、何気ない日常の大切さを実感する一年でした。

このような状況下であっても、すくすく広場は「心の感染」に最大限の注意を払いながらも、地域子育て支援拠点の自覚を深めることに力を入れてきました。そのためには「身近なことから、できることから機を見て動く」という使命を身に付けました。また、「自分を心配してくれる人がいる」と思い合える地域づくりにも、心を配りました。

今後も、ふるさと地元の課題に対して「見て・見つめて・見極めて」いく思いの深さを持ちたいと思います。そして、未来を拓いていくすくすく広場でありたいと願っています。

この一年間、すくすく広場に対してご支援・ご賛同いただきました、地域の皆様、関係者の皆様、加須市当局、そして笑顔でお会いできた皆様方に、心より御礼を申し上げます。

学習支援委員会より

増田雄一

2020年度、小中高生勉強会は、緊急事態宣言のため7月2日（木）から再開しました。再開に向けて、3密を避けるために話し合い、運営の何点かを変更しました。

一つは食事を出さない。二つは人数を10名以下の3グループに分け、17時からと18時からの2つの時間帯に分けました。その他、検温したり、除菌シート・消毒液を用意したりしました。再開初日は、11名の

子供たちが参加しました。

8月19日（水）20日（木）（10時からと13時から）に夏休みの集中勉強会を行いました。のべ6名、7名が参加しました。今年は参加人数が少なかったですが、集中して学習に取り組めていました。

12月17日（木）18時から「クリスマス ピアノ&歌唱コンサート」を行いました。

ピアニストの石塚幸子さんと高校生の小室美優（歌唱）さんのお二人が素晴らしい演奏、歌唱を披露してくれました。子供たちも感動していました。最後にプレゼントをもらい満足して帰りました。

冬休みの学習会を12月26日（土）27日（日）28日（月）、1月6日（水）7日（木）の9時30分から2時間、中高生を対象に教科も数学・英語を中心に実施しました。4名ずつの参加でしたが、一人一人に応じた学習が進められました。

その後、緊急事態宣言により2月中旬まで中止しましたが、再開し3月25日まで実施することができました。

毎週木曜日に実施し、毎回子供たちは11名から21名が参加し、8名から9名のスタッフが支援しています。現在は学生ボランティア（2名から4名）も参加してくれています。今後、ノートパソコン（タブレット型）を活用した学習も進めていきます。

子育て支援委員会より

経過報告 コロナ禍の下での1年の歩み

昨年3月、何の準備もなく学校が一斉に休校になり、一言で言えば、子どもたちは家に閉じ込められた状態で、ひどい場合には孤立してピンポン1つにも不安におびえている状態に置かれました。まず考えたのは、お弁当配布です。ピンチをチャンスに変えるには、この際に、これまで市内で活動して来られたベテランの団体と協働したいということ、学校ルートを開拓しなければ…ということでした。

①お弁当配達（3月末～6月初め）

市が実施した給食センターからの食材供給をきっかけに、石井喜久子さんら、しずくの会がすぐに応じてくれ、社協の協力であけぼの園の調理室をお借りして、すすくの子ども食堂委員会メンバーと合同で始めることが出来ました。チラシを持った数名で手分けして小学校を訪問し、3校の校長先生から必要性の高そうな家庭に働きかけていただき、申し込みを得てスタート出来ました。1ヵ月して石井さんが連休前の最終日を、学校再開までのさらに1ヵ月は、つくしの家の吉田さんが調理を引き継いでくれて、都合2ヵ月半、約30食を20数回、合計700食余りをお届けできたこととなります。この時期、埼玉県子ども食堂ネットワーク（本間香代表）の紹介で、赤い羽根、真如苑、ベルーナ、業務スーパーさんらの資金と食材・容器の支援があって大いに助かりました。

②プチ・パントリー

3月からは子ども食堂や勉強会の開催が出来なくなり、子ども食堂ネットワークの呼びかけでプチ・パントリーを毎月のように実施しました。朝、浦和や各企業に出かけ、大荷物を荷役し、愛泉や羽生の杜のステーションに持ち帰って、加須・羽生・行田・久喜・幸手の5市9つの子ども食堂に分配しました。3段回目で加須の中での小分け作業を、すすく本体、つくしの家、北小浜がして、夕刻には受け取りに来ていただいたりお届けもするという重労働でしたが、お届け先について、回を重ねるたびに、今まで子ども食堂の中では見えなかったご家庭の実情が少しずつわかるようになりました。「友だちのお宅にも声をかけていいですか？」や「もっと必要とするお宅のために辞退します」などのお声により、配布先リストが充実し確実なものになっていきました。すすくでは十数名のスタッフが、それぞれ数軒ずつ、他のパントリーがカバーできない多人数の生活保護家庭、にほんごの会に参加する外国籍の家庭、団地の子ども食堂のつながり、個別に知り合った子育て家庭を着実に把握し、合計30余の家庭との信頼し合ったつながりを作れたのも、この期間の大きな成果でした。

③かぞぐるみおべんとプロジェクト

夏休みにどうすればいいかは、大きな課題でしたが、「自分たちだけが気をもんでいる場合ではない」との考えから、市内でパントリーを開いている関根さん（現在加須北P）や木村さん（あいせんP）嶋田さん

（加須P）の賛同を得、地元で広告業を営む佐伯さんの全面的な協力を得て、「かぞぐるみおべんとプロジェクト」を実施しました。

ちょうど募集していた「むすびえ」（全国子ども食堂応援センター・湯浅誠さん主宰）の支援金の趣旨がぴったりだったことに導かれてのことでしたが、すすくのメンバーを中心にした実行委員会のスタッフが、手分けしてコロナ禍で苦闘する市内の飲食店さんを訪ね、26の協力店を得て、むすびえからの支援金50数万円を原資に、500円の食事券を子育て中の一人親家庭に配布して使ってもらおうという、「町ぐるみで応援」する企画でした。

実施にあたって一番難しかったのは、5枚ずつの食事券をどうやって必要度の高いご家庭に適切にお配りできるかということで、普通にはプライバシー保護の観点で制約されるのですが、加須ではすでに子育て応援フードパントリーが2か所（現在は4か所）も活動していた関係で、パントリーの協力のもと、すでに登録されていた130軒に、すぐさま渡すことが出来たのです。すすくが築いて来た30数軒のリストと合わせ170数軒にお配りし、90%以上のご利用をいただけたのはとてもうれしいことでした。

このプロジェクトで得た最大の成果は、ある店主さんの「私ら忙しいから大したことはできないけど、出来ることだったら何時でも協力するよ…」という言葉に接したことで、実は町中の皆さんが、「できそうなこと」を待っていてくださるという気づきでした。

また、私たちの活動を良く知ってくださっている市役所の子育て支援課や加須社協さんが、農家さんや企業さんの食材提供を促し、実際に仲介してくれたことや、市役所や民生委員会に働きかけてのフードドライブ（家庭の食品を持ち寄って、パントリーや子ども食堂に提供する）を開催して下さったこと、県の少子政策課が現場の苦境を見て即座に冷凍庫の支給を手配してくれたことなども忘れられないことでした。

感想

関口 春から、主に提供先からの運搬を担当した。冷凍物（時間との闘い）などでかなり苦労した思い出がある。設備的な改善もあったがやはり厳しい。夏のおべんとP Jでは4つのお店に協力してもらい、利用者があるたびに一緒に喜んだ。地域でのつながりが出来、良かった。

中島 弁当とパントリーに関わって来た。届けるだけでもいろいろなことがわかり、少しだが、すそ野を広げることが出来た。

河野 食品の管理など、事故があってはならないので緊張したが、無事にやって来れた。

庭山 小学校長に面接して紹介していただいた家庭に届けることが出来たのが良かった。給食センターからのものは冷凍ものが多く、受け取るにも冷蔵庫に空きがなくて困った家庭があった。親は主食のコメなどを喜び、子どもはお菓子を飛び上がって喜んだ。12月のケーキの時は「余裕がなくて買ったりできないので」と、家族中で喜んでくれた。親にとって前後の手間が省けるお弁当は、とても助かる。今後もお弁当は続けたい。

林 この間に埼玉エリア（加須・羽生・行田・久喜・幸手）内の助け合いが進んだし、市内のパントリーとも食材のシェアなどの協力が出来てとても良かった。市流さんのキャベツなど、地元企業さんの協力が増えた。

協議

今後の活動について

・昨年来の活動で、具体的にご家庭との信頼関係ができ、これからもプチ・パントリーやお弁当配布の活動がぜひ必要。保管場所の確保もできるようになったので、パントリーは継続できるのではないかな。特にお弁当は親御さんの負担を少しでも軽減できるので、とても喜ばれる。

・お米、スパゲティなど、主食になるものはもちろんだが、レトルトのカレーやスパゲティソース、ふりかけや粉のスープ、カップラーメンや〇〇のごはんなど、温めるだけで子どもが安全に食事できる食材が便利。さらに要望を把握したい。

・現在、むすびえ第5回の支援金20万円がある。申し込み中では、キューピーの20万円（2月中旬に決定。4月～）。今後検討してのことだが、2月25日〆切の赤い羽根さいたまの50万円（3～5月）などがある。資金面の事務でも分担が必要か。また、加須市の支援補助金「いっしょに取り組もう」部門も可能性がある。事前に子育て支援課との協議を開始したい。

・お弁当配布については当面、春休みを念頭に置いて相談を始めるが、地域に密着した小規模な調理拠点

（つくしや北小浜を含めて）を各所に設ける方向性が望ましい。（前年度の実績をふまえて）小学校との連携をさらに進める。飲食店との協働も考慮に入れる。マンパワーの確保も課題である。

・お弁当については、子ども食堂委員会と子育て支援委員会が合同の会議を開いて進めることが望ましい。

⑦地域の方々・企業様からの食材寄付等のご支援

新婦人加須支部様

仲村正昭様

金子ひでゆき様 お米

池田裕美子・一夫様 お米

野中重男様 お米

関口雅史様 お米

松本雅広様 お米

河野光俊様

江田勝義様 お米

堀江房子様 野菜

渡邊諭志様 お米

関根幸子様 レトルトカレーほか

中森農産物様 お米

ケンタッキーフライドチキン様 鶏肉

粥市流様 キャベツ

粥フジコ様 煮豆他

埼玉りそな銀行加須支店様フードドライブ

埼玉りそな銀行騎西支店様フードドライブ

加須市役所職員様フードドライブ

民生委員会様フードドライブ

野崎ひとみ様 文具

新井正江様 お米

中島利明様 お米

粥ハーベス様 除菌ミスト

粥日本レンタリース様 お米

ケンコーマヨネーズ様 ドレッシング3種

I K E A様 クリスマス用品 お菓子 時計

ロリエ様 生理用品

※いつもありがとうございます！

すくすく広場のHPです→

k-sukusuku-hiroba.org

